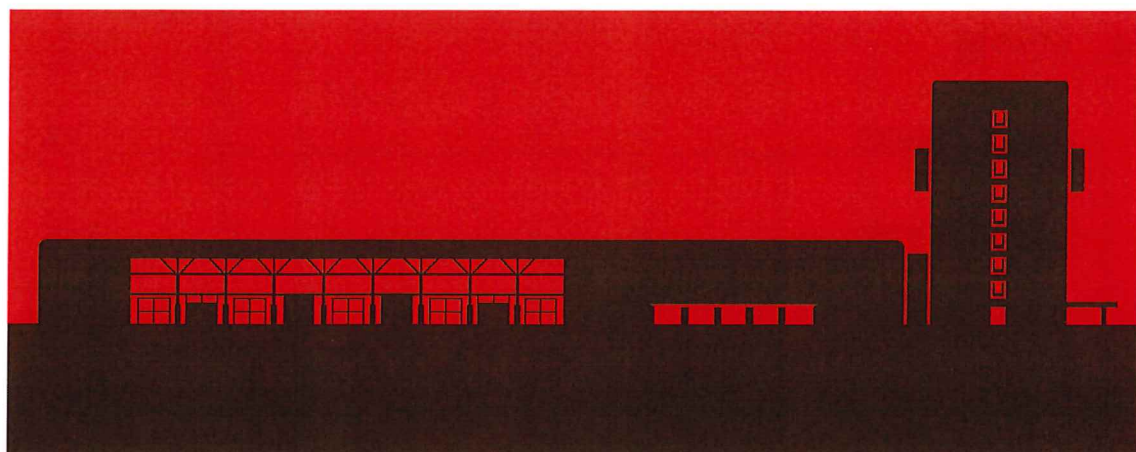


名古屋市中小企業振興会館
緊急対応マニュアル
【地震・火災・事故】



名古屋市中小企業振興会館

2023年12月作成

名古屋市中小企業振興会館

緊急対応マニュアル

【地震・火災・事故】

目 次

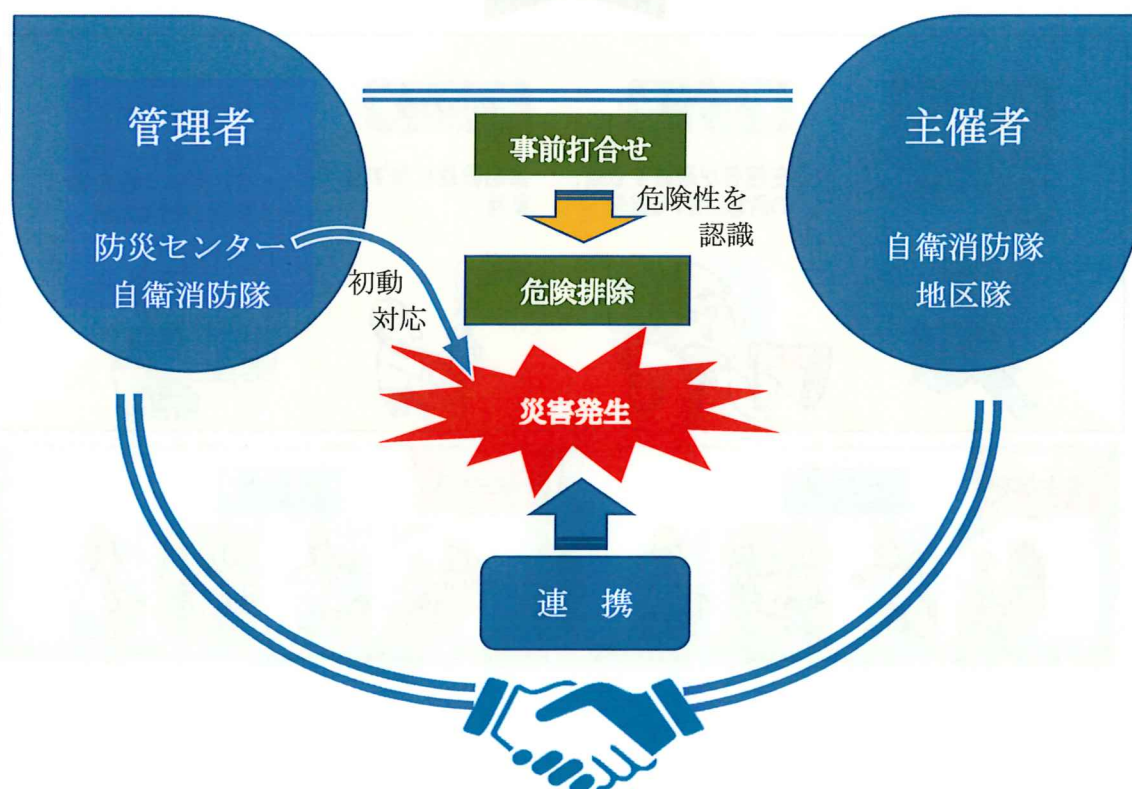
1. 基本方針	2
2. 体制と役割	3
3. 事象別初動対応	
(1) 地震が発生した場合	4
(2) 火災が発生した場合	5
(3) 急病人・負傷者が発生した場合	6
(4) 事件・事故が発生した場合	6
4. その他	
(1) 避難経路	7
(2) 放送文例	1 2
(3) 連絡先	1 4

はじめに

このマニュアルは、名古屋市中企業振興会館（以下「会館」という）の催事開催中に災害が発生した場合、いかに被害を最小限に抑えることができるか、何をどう行えば、適切な初動対応ができるかをわかりやすくマニュアル化したものです。災害時には関係者相互の協力が欠かせません。是非皆様のご協力をお願い致します。

1. 基本方針

- (1) 会館管理者（以下「管理者」という）は、主催者と共に来場者の安全確保を第一とし、人命を最優先に災害時の対応にあたる。
- (2) 管理者は、事前打ち合わせにおいて、主催者から詳細に内容を聞き取り、催物開催にあつての危険性を十分に理解し、できる限りの危険を排除しつつ主催者と共に管理運営にあたる。
- (3) 管理者は、防災センターを中心に初動対応能力を向上させ、主催者と共に災害の被害を最小限に抑える。
- (4) 主催者は、災害が発生した場合、届け出た自衛消防隊編成表の体制により対応し、振興会館自衛消防隊と連携し災害時の対応にあたる。



2. 体制と役割

(1) 主催者

提出いただいた自衛消防隊編成表に基づき、地区隊として会館自衛消防隊と連携して活動するものとする。

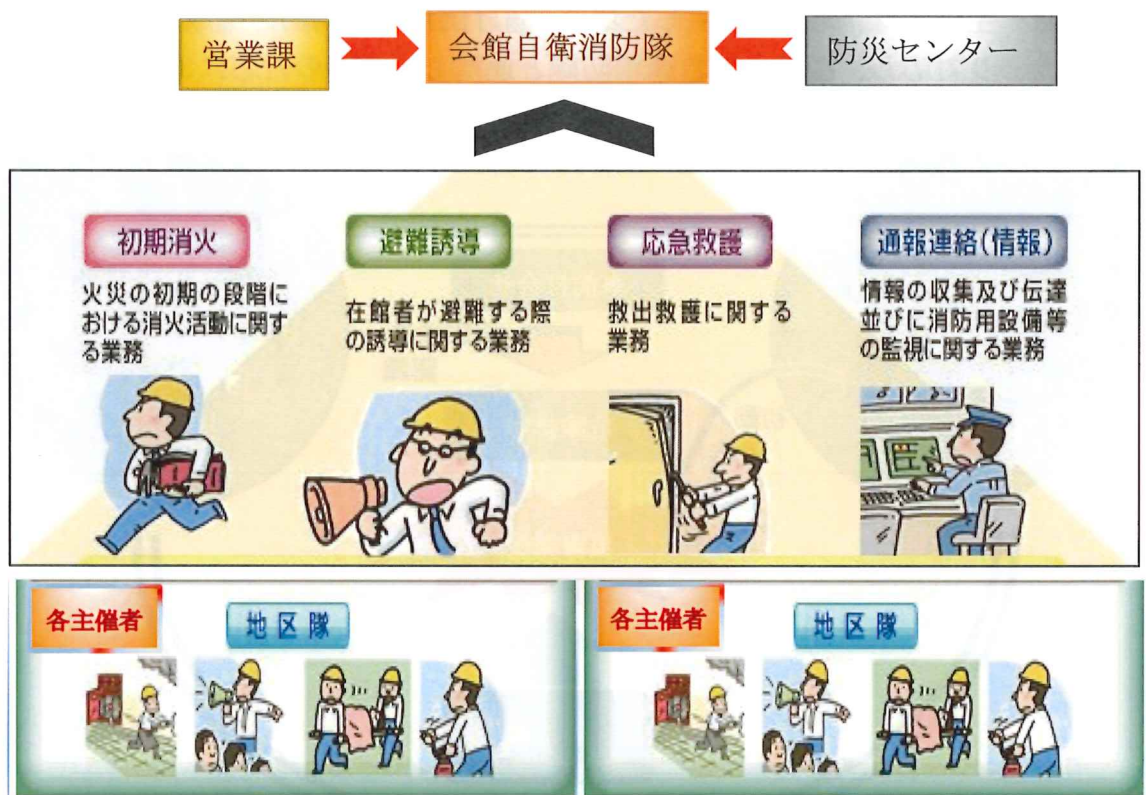
(2) 管理者

① 防災センター

防災センターは、災害発生初動時に中心的役割を担い、会館自衛消防隊として通報連絡、初期消火等必要な活動をするものとする。

② 営業課

会館の営業課は主催者との打ち合わせ業務から、各展示場内のレイアウト、安全管理上必要な設備等を掌握していることから、会館自衛消防隊を機能させ、初期消火、避難誘導、応急救護、通報連絡体制が万全となるよう防災センターや会館自衛消防隊、主催者自衛消防隊を連携させる。



3 事象別初動対応 (1) 地震

主催者	内容	管理者	内容
緊急地震速報			
緊急地震速報を受信、自動的に全館放送される。 (中京地区にて震度5強以上の場合)			
地震発生			
会場内への呼びかけ	落ち着いて行動するよう呼びかける。 例：「落ち着いてください」「頭を守ってください」	被災状況確認	防災センターは各展示場等の状況を確認し営業課へ報告する。 火災、負傷者はないか 119番通報
防災センターへ連絡	防災センターへ状況を知らせる。 火災、負傷者はないか 119番通報 防災センター（内線5#）	状況把握	防災センター、営業課は無線機等を使用し、連携して会館全体の被害状況を把握する。
初期消火	消火器・屋内消火栓を使用して初期消火をする。(火災発生時) 状況を防災センターへ連絡する。	初期消火	消火器・屋内消火栓を使用して初期消火をする。(火災発生時)
応急救護	負傷者発生の場合、応急救護を行う。	応急救護	負傷者発生の場合、応急救護を行う。 119番通報
		非常放送1	防災センターから地震発生についてのお知らせを放送する。
		状況確認	防災センター職員は定期警備コースを見回り、異常の有無をその都度無線で報告する。
		非常放送2	防災センターから地震発生からその後の情報について放送する。
避難放送（避難が必要な場合）			
避難誘導	避難が必要な場合は躊躇することなく会場外へ避難させる。	避難誘導	避難が必要な場合は躊躇することなく会場外へ避難させる。 会館自体に危険が及ぶ場合は安全な場所へ誘導する。
開催継続判断	消防・管理者と協議	開催継続判断	消防・主催者と協議

(2) 火災

主催者	内容	管理者	内容
自火報鳴動			
現場の確認	現場の確認をして、異常の有無を防災センターへ連絡する。	防災センター1名は現場へ急行し、確認する	防災センターは主催者へ連絡し、現場の確認を依頼する。火災であれば119番通報し非火災ならば、防災センター職員は発報感知器を特定する。
			火災⇒火災発生 非火災⇒非火災報を放送し復旧する。
火災発生			
会場内への呼びかけ	会場内へ火災を知らせる。落ち着いて行動するよう呼びかける。 例：「火事だー」「消火器を持って来て」「落ち着いてください」	現場へ急行する 状況確認	状況を確認し、無線で防災センター・営業課へ報告する。どこで何が燃えているか 負傷者はいるか 119番通報
防災センターへ連絡	防災センターへ状況を知らせる。どこで何が燃えているか 負傷者はいるか 119番通報 防災センター（内線5#）	状況把握	防災センターは無線機等を使用し、営業課員と連携する。
初期消火	消火器・屋内消火栓を使用して初期消火をする。 状況を防災センターへ連絡する。	初期消火	消火器・屋内消火栓を使用して初期消火をする。
応急救護	負傷者発生の場合、応急救護を行う。	応急救護	負傷者発生の場合、応急救護を行う。
避難放送（避難が必要な場合）		*放送文例（P.13）を参照	
避難誘導	避難が必要な場合は躊躇することなく会場外へ避難させる。	避難誘導	避難が必要な場合は躊躇することなく会場外へ避難させる。
消防隊へ引継ぎ	消防隊への情報提供	消防隊へ引継ぎ	消防車・消防隊の誘導と情報提供
鎮火			
		非常放送	鎮火の判断は消防 *放送文例（P.13）を参照
開催継続判断	消防・管理者と協議	開催継続判断	消防・主催者と協議

(3) 急病人・負傷者

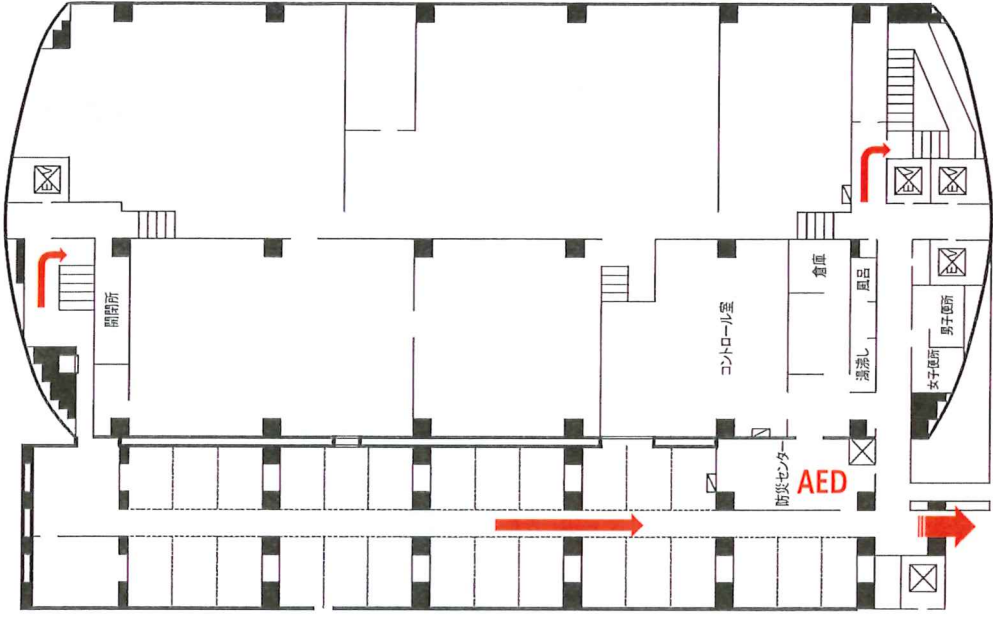
主催者	内容	管理者	内容
急病人・負傷者発生			
通報・連絡	関係者から情報を聞き取り、状況を確認する。 必要なら躊躇なく119番通報	現場へ急行	防災センターはAEDを持参して現場へ急行し状況を確認、無線機にて営業課へ報告する。 119番通報
防災センターへ連絡	防災センターへ状況を知らせる。 AEDが必要ならば、連絡する。 防災センター（内線5#）	状況把握	防災センターは無線機等を使用し、営業課員と連携する。AEDを搬送する。
応急救護	急病人負傷者に対し、応急救護を行う。 移動可能であれば救護室を案内する。	応急救護	急病人負傷者に対し、応急救護を行う。 移動可能であれば救護室を案内する。
情報提供	救急隊へ情報提供、関係者の同乗を依頼する。	誘導	防災センターは、救急車・消防車を適正な場所へ誘導する。

(4) 事件・事故

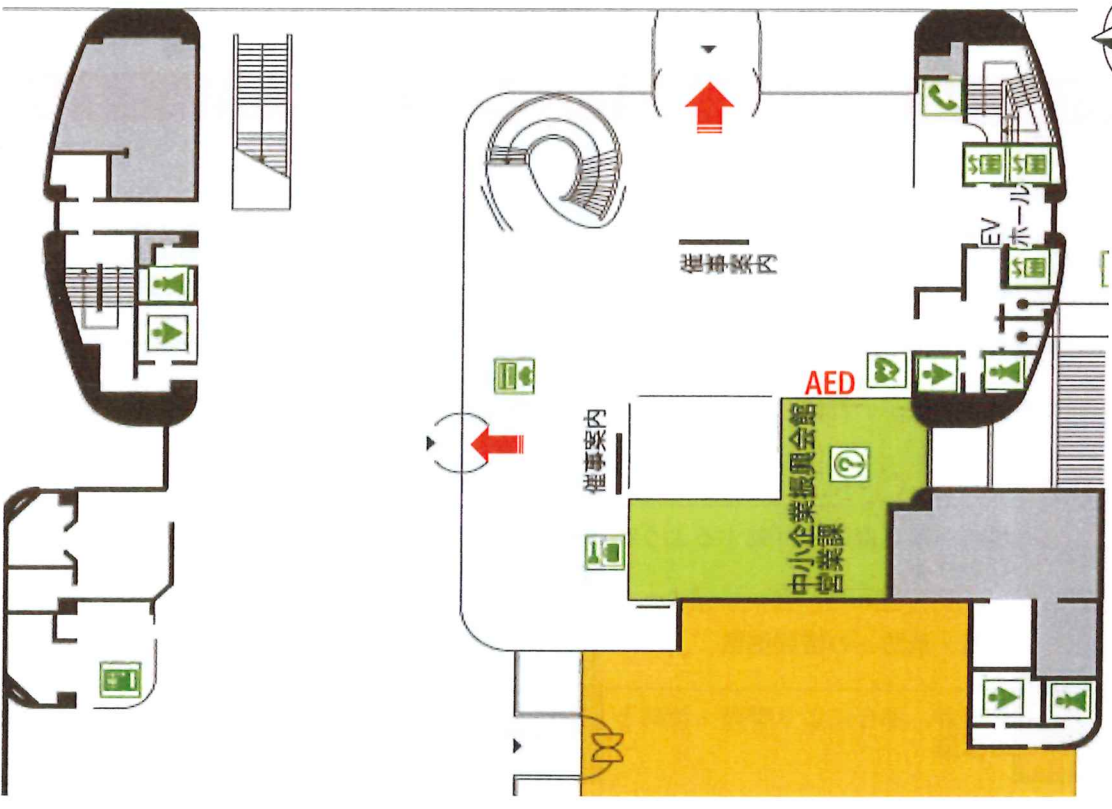
主催者	内容	管理者	内容
事件・事故の発生			
通報・連絡	負傷者がいれば躊躇なく119番、必要なら110番通報 状況を防災センターへ連絡する。	現場へ急行	現場へ急行し状況を確認、営業課へ無線機にて報告する。 必要に応じて、119番、110番通報
応急救護	負傷者等がいれば、応急救護を行う。	応急救護	負傷者等がいれば、応急救護を行う。
呼びかけ	場内へ落ち着いて行動するよう呼びかける。	館内放送	必要に応じて、館内放送にて状況説明等をする。
情報提供	警察・消防への情報提供	車両誘導	警察・消防車両の誘導
開催継続判断	管理者、場合により警察・消防との協議	開催継続判断	主催者、場合により警察・消防との協議

4 その他
 (1)避難経路

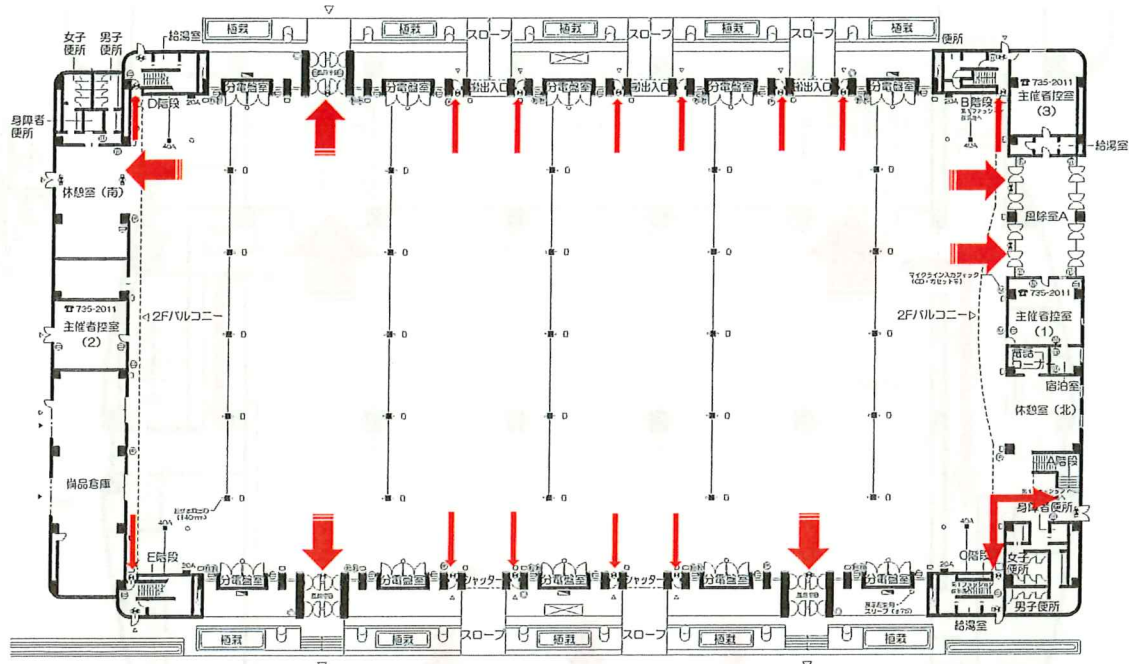
地下1F



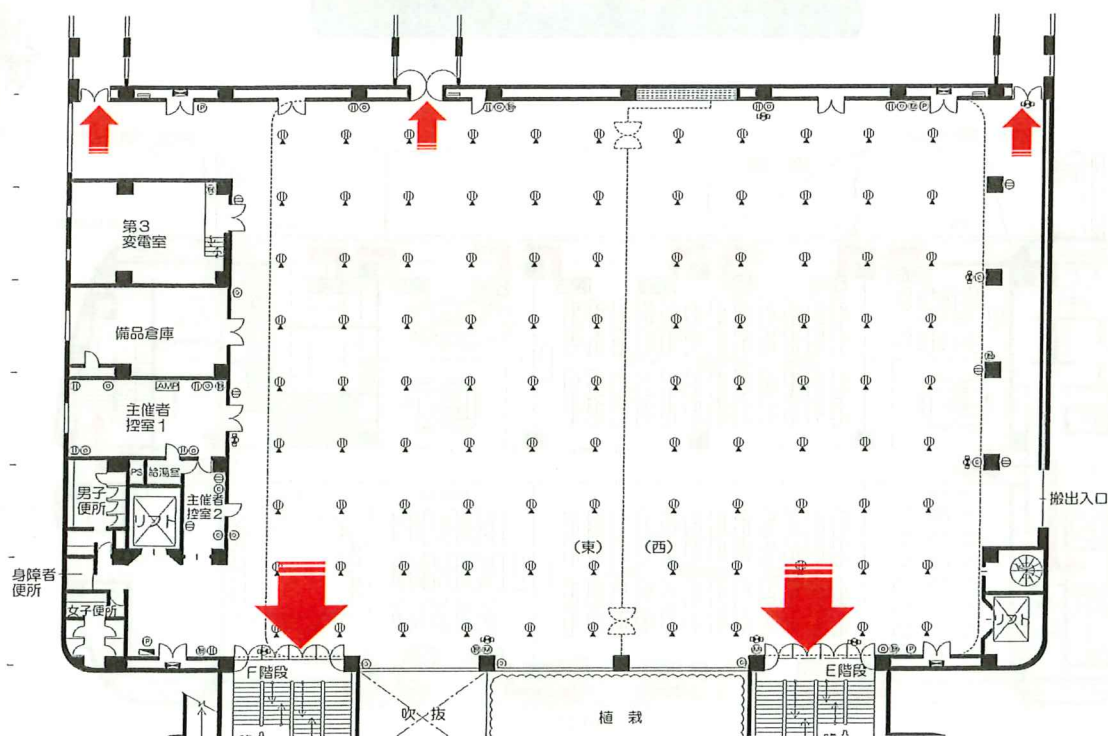
1F



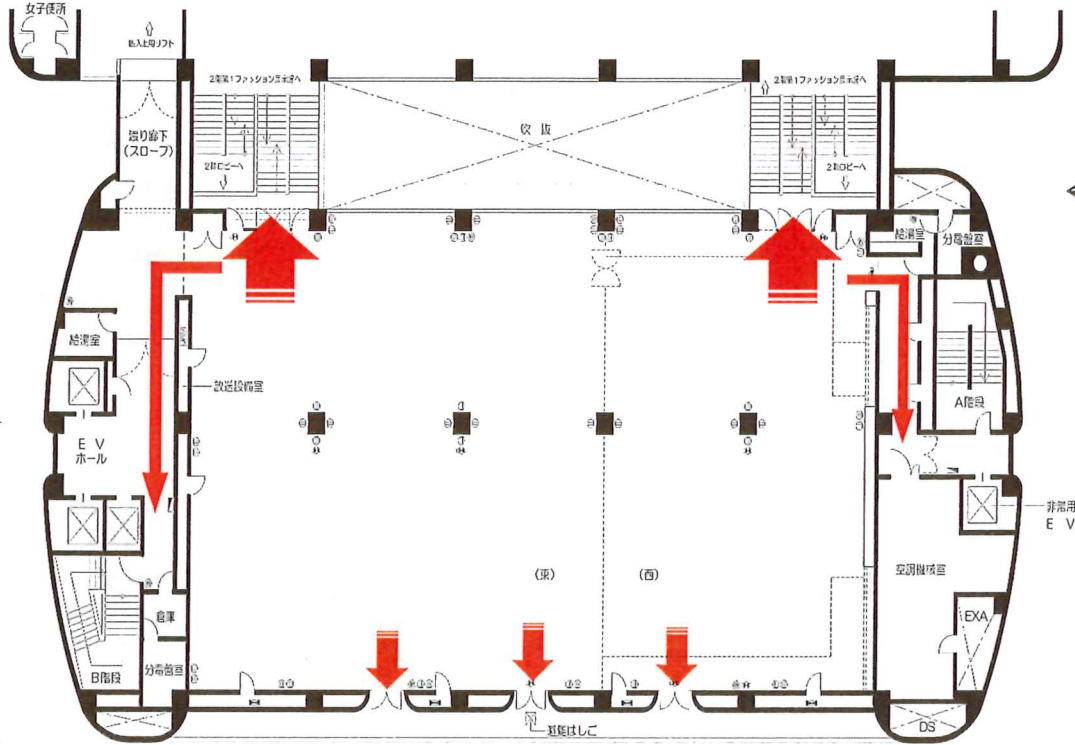
吹上ホール



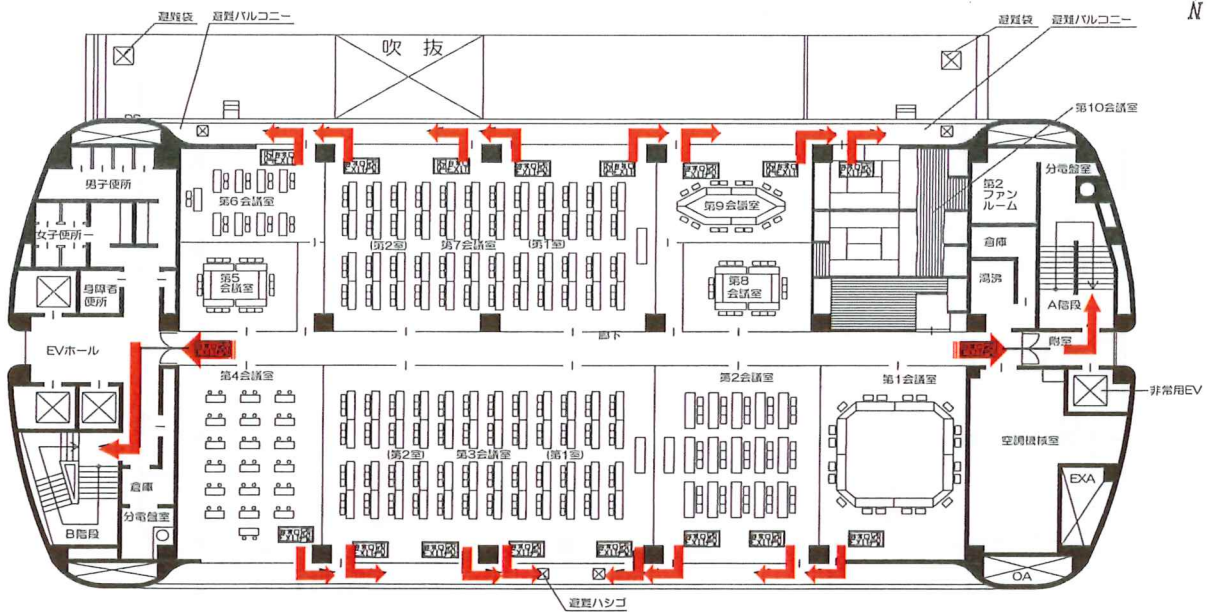
第1ファッション展示場



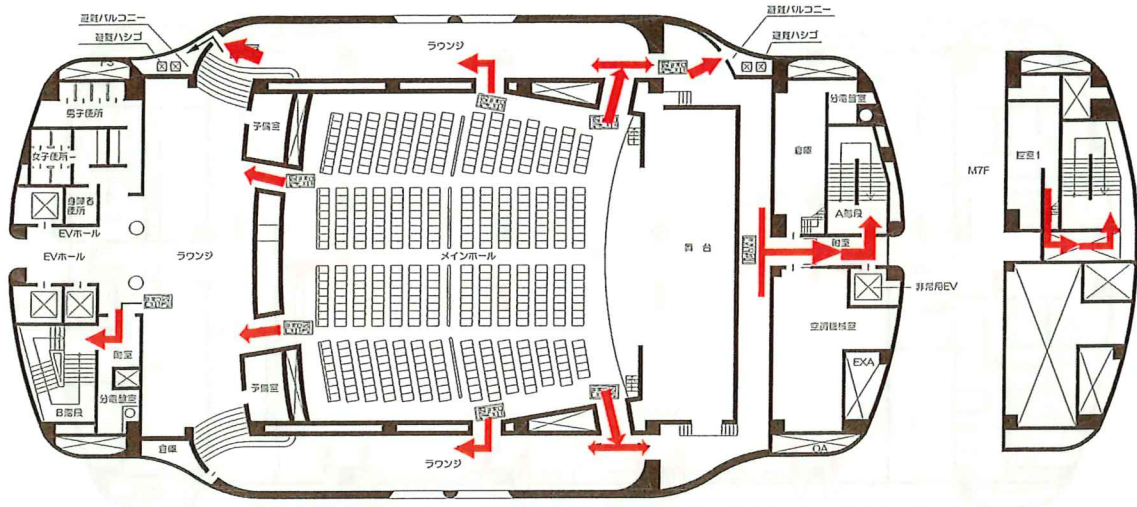
第2ファッション展示場



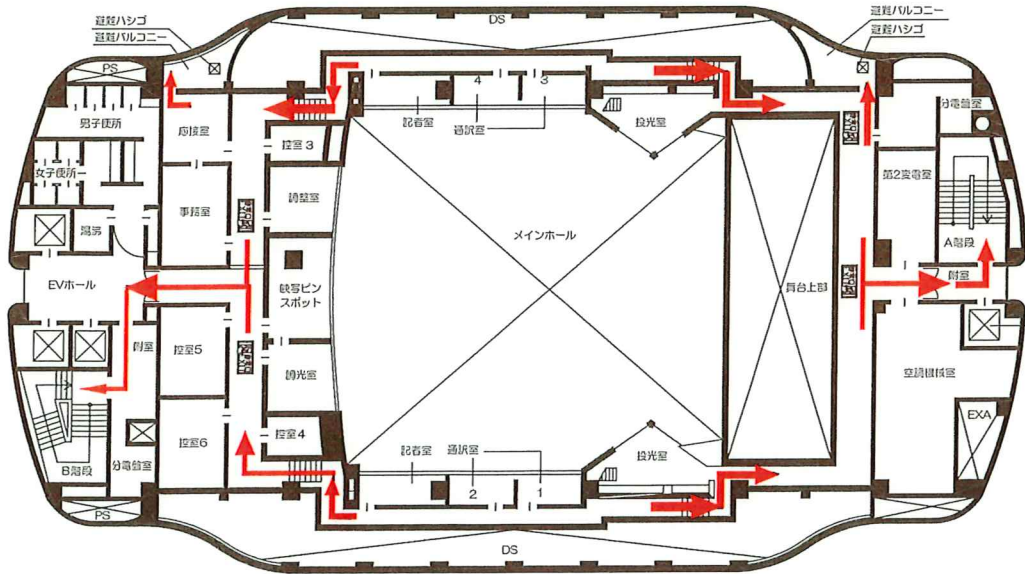
4F 会議室



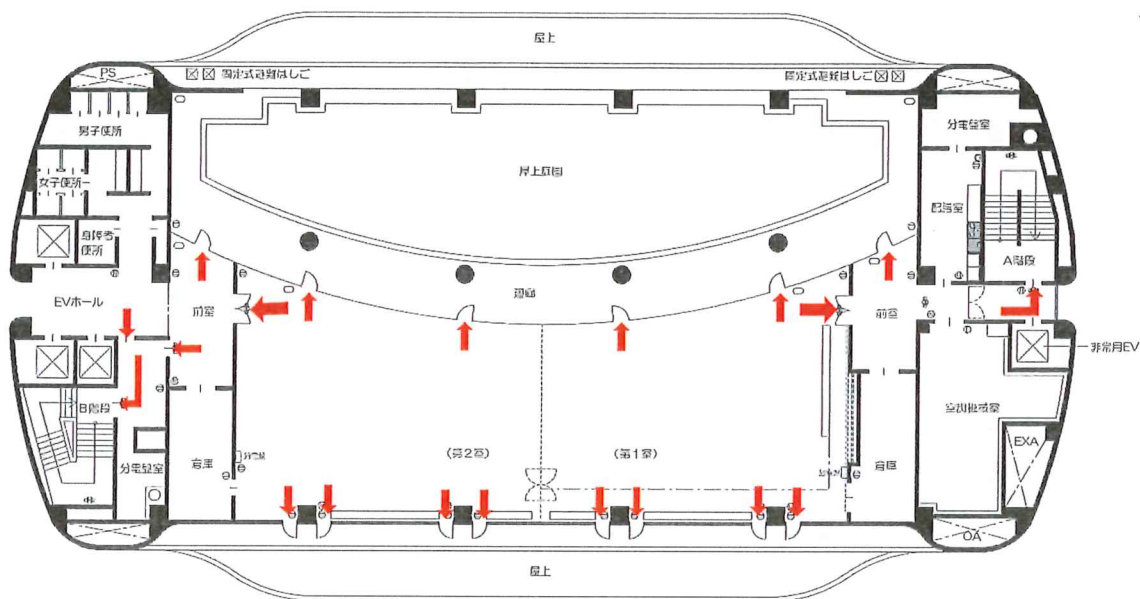
7F メインホール



8F メインホール控室



9F 展望ホール



(2) 放送文例 (状況により内容は変わります)

《地震》

緊急地震速報：中京地区で震度5強 (自動的に全館放送)

(チャイム2回) 緊急地震速報です。〇〇県で地震。次の地域は強い揺れに警戒して下さい。〇〇県、愛知県、〇〇県、〇〇県、〇〇県 (内容は2回繰り返し)。

緊急地震速報でした。該当する地域の方々は倒れやすい家具などから離れ、テーブルの下などに入って身を守って下さい。車を運転中の方はあわてずに車をゆっくり止めて下さい。上から落ちてくるもの、倒れてくるものに気をつけて下さい。地震の詳しい情報は入り次第お伝えします。(チャイム2回)

地震発生：第1報

こちらは防災センターです。

ただいま地震が発生しました。

落ち着いて行動してください。落下物、工作物の倒壊に注意してください。

エレベーターは使用しないでください。

今後、更に強い地震が来るおそれもあります。

個々の状況に応じて身の安全を守る行動をお取りください。

次の情報が入り次第お知らせします。

(繰り返し)

避難放送 (避難が必要な場合)

こちらは防災センターです。

只今より、館内の皆様には屋外へ避難をしていただきます。

館内放送に従い、屋外へ避難してください。

走らずに落ち着いて行動してください。

下の階へは、階段をお使いください。

エレベーターは使用しないでください。

館内職員は、安全な場所へ誘導してください。

引き続き、余震に警戒してください。

(繰り返し)

地震発生：第2報

こちらは防災センターです。

先ほど発生した地震は震度〇、震源地は〇〇です。

【会館の被害状況】

当会館の被害は現在のところありません。(あれば大まかに伝える)

【津波注意報・警報発令ありの場合】

愛知県沿岸に大津波警報が発令されました。(警報例)

今後、更に強い地震が来るおそれもあります。

個々の状況に応じて身の安全を守る行動をお取りください。

(繰り返し)

《火災》

ベル鳴動

こちらは防災センターです。

ただいま〇階〇〇にてベルが発報しました。係員が確認しておりますので、情報が入り次第お知らせいたします。
(繰り返す)

非火災報（ベル鳴動の誤報）

こちらは防災センターです。

先ほどのベルの発報は確認の結果、異常はありませんでしたのでご安心ください。
(繰り返す)

火災発生

こちらは防災センターです。

ただいま〇階〇〇で火災が発生しました。

自衛消防隊による初期対応を行っております。

係員の指示に従い、落ち着いて行動してください。
(繰り返す)

火災 避難

こちらは防災センターです。

ただいま〇階〇〇で火災が発生しました。

〇階・〇階の方へお知らせいたします。

現地係員の指示に従い、屋外へ避難してください。

下の階へは、階段をお使いください。

エレベーターは使用しないでください。

落ち着いて行動してください。
(繰り返す)

鎮火

こちらは防災センターです。

さきほど〇階〇〇で発生した火災は消火活動の結果、鎮火いたしました。

ご安心ください。

なお、〇階〇〇付近は立ち入り禁止となります。ご注意ください。

(繰り返す)

(3) 連絡先

館内付属電話 内線番号表

会館内の常設電話で外線発信はできません

	内容	担当部署	内線番号	階数
管 理	防災センター		5#	B1F
	コントロール室		40	B1F
	中小企業振興会館営業課 (管理事務室)		3#	1F
展示施設	吹上ホール 主催者控室 1 (北)		10	1F
	吹上ホール 主催者控室 2 (南)		11	
	吹上ホール 主催者控室 3 (北)		12	
	第1ファッション展示場 (東)		13	2F
		第1ファッション展示場 (西)	14	
	第2ファッション展示場 (東)		15	3F
		第2ファッション展示場 (西)	16	
会議室	第1会議室		18	4F
	第2会議室		19	
	第3会議室 (第1室)		38	
	第3会議室 (第2室)		39	
	第4会議室		22	
	第5会議室		23	
	第6会議室		24	
	第7会議室 (第1室)		25	
	第7会議室 (第2室)		26	
	第8会議室		27	
第9会議室		28		
第10会議室		29		
集会施設	メインホール予備室 (北)		30	7F
	メインホール事務室		31	8F
	展望ホール前室 (東)		32	9F
	展望ホール前室 (西)		33	

